

第2回原野谷学園新たな学校づくり検討委員会 概要

日時	令和5年12月12日(火) PM7:00～8:45
場所	原野谷中学校 図書室
出席者	委員 19名 事務局 教育政策課長、学校再編室長、学校再編室主査、学校再編室主事、 地域計画建築研究所3名
内容	
■：委員会での検討内容	
1	開 会
2	あいさつ
3	協議事項
	(1) 整備コンセプト・基本方針について
	■ 事務局から、前回ワークショップのまとめと原野谷フェスティバルでのご意見を共有。
	(2) 新しい学校に求める機能について（ワークショップ検討）
	■ 意見の内容は別紙「ワークショップまとめ.docx」参照
	(3) 学校の設置場所について
	■ 資料4のスクールバス対象者エリア表示について、現状自転車通学が許可されているエリアがデータと異なる旨、委員から指摘。 ⇒中学生の自転車通学の下限を示したのではなく、スクールバス対象者を示した図である旨、事務局から回答。
	■ 資料3-1で示された比較項目について、原野谷は将来的に全学年が単学級になる可能性があるため、さらに先の再編についても検討要素に追加したほうが良い旨、委員から指摘。 ⇒変動要素が多いため現時点では推測しきれず、検討要素には加えない旨説明。
	■ 単学級になる可能性に関連して、学区の撤廃や弾力化は考えているのか、委員から質問。 ⇒手法の一つとして検討している旨、事務局から回答。
	■ 再編に先んじて小学校の統合を行うが、原田小学校が吸収されるという印象を与えず、小中一貫校建設に向けた前向きな統合というイメージとするためにも、令和7年の統合の時期には新しい学校名にしてほしい旨、委員から要望。 ⇒名称については別途検討する旨、事務局から回答。
	■ 原野谷中と原谷小の比較で、原谷小は広さが一番の課題となっているが、北や南の土地の拡張は可能か、検討してもらえるか、委員から質問。 ⇒検討して返答する旨、事務局から回答。
	■ 新しい学校にテニスコートは必須か、委員から質問。 ⇒中学の授業の一環として使用する場合があります、また現状部活で使用しているが、必須の設備ではない旨、事務局から回答。
	(4) 「原野谷学園新たな学校づくり検討委員会だより」第2号について
	■ 事務局から、第1号の最終版と、第2号のおたより構成案を共有。
4	今後の予定について
5	閉 会